岐阜県の農地・水・環境保全だより

第22号
平成29年1月

〔発行〕
岐阜県農地・水・環境保全推進協議会
岐阜市下奈良2丁目13番1号
岐阜県土地改良事業団体連合会内
TEL.058-271-1326

農地や農業用水は、農業生産の役割だけでなく、魅力的な農村にとってかけがえのない大切な財産（資源）です。この資源を支えてきたのは「地域の共同活動」。これなくして、農村の環境を守ることはできません。

下池地域農地・水・環境保全管理組合は、池干しにより、池の環境を改善し、外来種を駆除し、タナゴの生息環境を保全する活動をしています。（海津市）

池干しの様子
（平成28年10月30日）

【CONTENTS】

▌平成28年度 東海農政局「日本型直接支払シンポジウム」…… 2
▌表彰地区の紹介 …… 4
▌安全研修及び土壌硬化剤 “マグホワイト” 活用研修会 …… 6
▌安全研修会及び簡単塗装技術研修会 …… 8
▌平成28年度 小水路目地補修講習会 …… 10
▌平成28年度に事業計画の終期を迎える組織への注意事項 …… 12
▌多面的機能支払交付金事例研究会 …… 13
▌岐阜県からのお知らせ …… 14

平成28年度 東海農政局「日本型直接支払シンポジウム」

●柿とバラの町農地・水・環境保全管理組織（大野町）
「全国農村振興技術連盟賞」受賞

●平原管理組合（海津市）　「中日新聞社賞」受賞

平成28年度東海農政局「日本型直接支払シンポジウム」は、農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮することの大切さを再認識してもらうことを目的として開催されました。

優良表彰の表彰式では、本県は、2組織が受賞され、大野町の柿とバラの町農地・水・環境保全管理組織が「全国農村振興技術連盟賞」、海津市の平原管理組合が「中日新聞社賞」を受賞されました。

日　時：平成28年12月13日（火）13:00～17:00
場　所：名古屋市西文化小劇場（名古屋市西区花の木2丁目18番23号）

プログラム

◎ 表彰式

審査委員会の結果

【東海農政局長賞】

◆ 茶屋新田地域資源保全隊(愛知県)

地域住民や担い手、小学校と連携して、環境保全活動や広報活動等に取り組むことにより地域の活性化を図っている。また、名古屋市等を巻き込んだ環境保全活動に積極的に取り組むことで新聞社に取り上げられる等、啓発普及に努力したことを評価。

【全国農村振興技術連盟賞】

◆ 柿とバラの町農地・水・環境保全管理組織(岐阜県)

多様な組織と連携して、体系的に多様な組織運営を行っている。また、48もの集落をまとめながら地域全体を巻き込んで、目地補修講習会、直営施工及び環境保全活動の実施を評価。

◆ ふもとの里を守る会(三重県)

小さい組織ながら多くの非農家を構成員にして、小学校等地域の多様な組織と連携した環境保全活動を評価。

【中日新聞社賞】

◆ 平原管理組合(岐阜県)

子供会、自治会等と連携して環境保全活動を実施しつつ、活動内容を活動組織のホームページや、広報誌により定期的に発信する等、啓発普及にも努力したことを評価。

【表彰される柿とバラの町農地・水・環境保全管理組織の加納会長】

【表彰される平原管理組合の服部代表】

◎ 基調講演

○『地域資源を活かした”まちづくり”』ー高校生レストランの仕掛け人が語るー

まちの宝創造アドバイザー

岸川 政之 氏

【岸川 政之氏による基調講演】

高校生が運営する本格レストラン「まごの店」と卒業生が運営する総菜とお弁当の店「せんぱいの店」を仕掛ける。三重県立相可高校食物調理科の調理実習施設として、学校が休みの土日祝日などにクラブ活動の一環として運営されていたのを、マスコミに取り上げられ、特にニュースステーションで放送されてからは、反響が大きく、現在は、行列の出来る店として人気を呼んでおり、地域の人もこの高校生たちの頑張りに感動し、大きな勇気をもらっている。また、町内外で活躍する人材を集め、地域を良くしようと企画、実行するプロデューサー集団を組織し、14の市町村と契約をして町おこしを企画立案して活動をしている。

◎ 取組事例発表

○中山間地域等直接支払交付金

大野瀬集落協定　加藤 篤幸 氏（愛知県豊田市）

○多面的機能支払交付金

柿とバラの町農地・水・環境保全組織　加納　準一 氏（岐阜県大野町）

◎ ワンポイント講習

○「農業用施設の機能診断及補修について」

東海農政局土地改良技術事務所専門技術指導官

池山 和美 氏

【 受賞された東海管内の受賞者のみなさん】

東海農政局　多面的機能支払交付金表彰

【全国農村振興技術連盟賞】

柿とバラの町農地・水・環境保全管理組織（大野町）

地域の概要

・認定農用地面積：田 861.46ha、畑 222.46ha、　合計 1083.92ha
・対象農用地面積：田 861.46ha、畑 222.46ha、　合計 1083.92ha
・農業用施設　　：274.9km、パイプライン −km、農道 10.6km

本組織は、揖斐郡大野町全域を活動エリアとした県下最大の「広域活動組織」である。

大野町は、濃尾平野の西北端にあり、水と緑に囲まれた自然豊な町で、特産は、組織名にあるとおり「柿」と「バラ」で、特に「バラ苗」においては日本一のシェアを占めている。

本地域も農業従事者の高齢化、後継者不足、混住化による集落機能の低下等の課題がある中、平成19年度より農地・水・環境保全向上対策に取り組み、48集落と土地改良区が両輪となり、地域資源を保全する共同活動を幅広に展開している。

【生き物調査】

【用水路施設見学会】

活動内容

●各地区は、地区内自治会の代表者を集め、定期的に地区説明会を開催。
運営委員会で決定した方針の伝達や具体的な活動内容について協議。

●組織全体の活動として、大野町教育委員会と連携して町内全ての小中学校の生徒・児童を対象とした環境保全に関するポスター・標語コンクールを毎年実施。

●法面の防草シート張りを業者委託することなく構成員で直営施工。

●設立当初から、町全域の活動エリアとした広域活動組織であり、土地改良区が事務局（事務受託）を担うことにより、交付金申請から活動記録の整理などの提出書類作成のための事務処理が効率化（地元負担軽減）。

●活動組織設立当初から毎年、地域ごとに目地補修講習会を順次開催した結果、町全域で構成員による目地補修活動が普及し、現在では簡易な目地補修は直営施工により定期的に実施されるようになった。

東海農政局　多面的機能支払交付金表彰

【中日新聞社賞】

平原管理組合（海津市）

地域の概要

・認定農用地面積：田 130.47ha、畑 7.21ha、　合計 137.68ha
・対象農用地面積：田 130.47ha、畑 7.21ha、　合計 137.68ha
・農業用施設　　：開水路　33.2km、パイプライン 24.8km、農道 44.5km

海津市は岐阜県の最南端に位置し、西部・南部は三重県に、東部は木曽川、長良川を境に愛知県に隣接している。揖斐川が縦断する中央部から東部は「輪中」と呼ばれる河川によってもたらされた肥沃な土壌に培われた豊かな田園地帯が広がっている。昭和55年から平成12年にかけて「高須輪中総合整備計画」に基づく国営・県営事業による再圃場整備が行われ、1～2haの大区画圃場、農道、用水パイプライン、暗渠排水等が整備され、水田汎用化・大区画化が実現し、戦略作物の小麦・大豆の生産を拡大、営農組織等による集団的栽培が行われている。多面的機能支払交付金事業においては、海津市内で現在37組織が取り組みを行っており、その中でも本組織はとりわけ広大な面積を有し、農地維持活動はもとより、資源向上活動（共同及び長寿命化）において積極的な活動を行っている。

【治水タワーから眺める高須輪中】

【大型機械による麦の刈取りの様子】

活動内容

●組織内に運営委員会を設置し、組織の円滑な運営のため、役員会を毎月開催している。役員会において活動の進捗状況報告、計画に位置付けられた活動について、具体的な取り組み方法等についてその都度審議を行っている。
●専門家による技術指導のもと、施設の軽微な補修においては、その方を作業責任者におき、自主施工にて畦畔の補修、角落しの設置等の作業を行った。
●ホームページを開設し、外部への情報発信にも積極的に行っている。

刈り払い機（草刈機）安全研修会及び土壌硬化剤“マグホワイト”活用研修会　開催

平成28年11月9日（水）海津農村環境改善センター（現地研修は海津市大和田地域へ移動）において、刈り払い機（草刈機）安全研修及び土壌硬化剤“マグホワイト”を活用した活用研修会を開催しました。「共同活動時の事故防止」の講義の後、草刈機での安全作業のDVDを視聴してもらい、また、土壌硬化剤“マグホワイト”を活用した活用研修では、マグホワイト開発者の藤森 新作氏を招いて、マグホワイトの特徴や実施例等についての講義を受けた後、実地研修場所の大和田地域へ移動して、寒風が降り注ぐ中、実地研修を行いました。

【研修会の様子】

マグホワイトの概要

◎ マグホワイトとは…

地球環境にやさしい土壌硬化剤として“独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業工学研究所”と民間企業が共同開発した自硬性セメントで、特許も取得されており、施工も難しくなく、漏水効果や抑草効果も高いとされています。、肥料や食用物を原料としており、固化物のPHは中性域で不要になれば土に戻すことも可能であり環境にやさしい材料であると紹介されています。

実地研修

◎ 研修内容

農地の法面に設置された給水栓の前後を、マグホワイトに砂、木製チップ、水を混ぜ合わせたものを、予め法面を整形した部分に、コテ等を使って塗り固めた。

◆効果として・・・雑草の繁茂を抑制することと、給水栓が目立つことでモア等で草刈りを行う際の給水栓の破損を予防し、保全管理の向上を目的としている。

※同保全組合は、この取り組みについて、平成19年度より実施しており、結果として、草の繁茂時期でも給水栓がよく目立つため大変効果はあるとのこと。

施工に要した資材費について

（マグホワイト、砂、木製チップ、水を使用）
1ヶ所あたり面積　約1.6㎡（1m×0.8m×2（給水栓を挟んで両側）厚さ10cmで施工
20,800円／1.6㎡
1㎡あたり　13,000円／1.0㎡
これは資材費のみで、これ以外に必要があれば、機械のリースや日当等がこの費用にプラスされる。

▌マグホワイトの購入価格はどれくらいか？

数年前に購入したときは80円／kg。施工する場所、目的により、施工量（厚さ）も変わり、単純に価格だけで判断するのでなく、施工することで、維持管理の手間が軽減される程度や施工したものがどれぐらいもつのか（耐用年数）を考えて、施工について、検討してほしい。（単純に比較して、コンクリートの3倍の価格）

▌マグホワイトを土に混ぜる場合と吹き付ける場合と2つの施工の紹介があったが、どう違うのか？

吹きつけは、（濃度も低く）法面の雑草防止のためで、1年程度しかもたない。（施工する場所、目的によって変わってくる）

▌混ぜるのは、田んぼの土でよいか？

田んぼの土だけでもよいが、強度的に強くするには、砂、チップを混ぜるとよい。（同保全組合では、砂、チップを混ぜている）
また、施工したら、固まるまで触らないことが重要。

▌どれぐらいの耐用年数があるのか？

耐用年数は10年はある。（施工箇所は草刈り不要。同保全組合でH19に施工した箇所も変化なし）

刈り払い機（草刈機）安全研修会及び簡単塗装技術研修会　開催

平成28年12月10日（土）養老郡養老町室原自治会館及び現地において、刈り払い機（草刈機）安全研修及び簡単塗装技術研修会を開催しました。養老町の17活動組織 44名の参加を頂き、多面的機能支払交付金共同活動の事故防止についての講義のあと、草刈機のDVDを視聴研修しました。

その後、岐阜県土地改良事業団体連合会の山田管理監を講師に迎え、簡単塗装技術について講義を受けた後、実地研修として室原地内の水管橋を利用して、簡単塗装を行いました。

刈り払い機（草刈機）安全研修では、多面的機能支払活動中の事故の傾向や留意点について研修しました。

◆事故の傾向

斜面からの転落、草刈り機の接触、倒木との接触等

1. 活動の安全対策

（1）事前準備

①活動場所の下見、②作業計画の作成、
③緊急連絡網・連絡先の確認、④保険の加入等

（2）草刈り作業の留意点

【作業前】

①緊急時の停止方法の周知、②防護の徹底、③障害物の除去、④草刈り機の点検・整備、⑤体調や天候など

【作業中】

①作業間隔の確保、②休憩の確保、草刈り作業者への合図、③キックバック防止、④飛散物からの防護など

2. 事故の事例

（1）作業姿勢不安定による事故

●傾斜地など足場が不安定なことによる滑ったり、転倒したことによる事故が多く起こっています。

【対策】足場の不安定さを軽減することを目的として構造物等で足場を確保したり、滑りにくい安全靴等を使用する。

（2）事前の現地確認をしなかったことによる事故

●草が短い時には見えていた水路や排水溝、切り株などの障害物が、草が伸びたことで見えなくなり水路や排水溝に転倒する等の事故が起こっています。

【対策】事前に草刈り範囲の空き缶や石、木片などを除去をして、危険な個所にはテープ等で印をつけるなどをしておくこと

（3）回転による事故

●空き缶や小石をはじいて車などに当ったり、チップソーのチップが欠けて人の目に当ったりする等の事故が起こっています。

【対策】襟や袖口が締まっている作業服、ヘルメットや防護メガネ、安全靴、振動が伝わりにくい厚手の手袋等を着用すること。

※安全に注意して作業を行いましょう。

簡単塗装技術研修について

今回の塗装研修は、構成員が自ら施設への塗装を実施することを目的として、素人でも実施可能な簡単塗装技術を紹介し現地にて実地研修を行いました。通常の塗装作業では、劣化部分をケレンし、サビ止めを塗り、下塗り、中塗り、上塗り等を行いますが、これは高度な技術や経費が高額になるなど構成員自らが行うことは難しい。軽度のサビや塗装のハガレ程度であれば、「サビ止め」と「上塗り」が調合された塗料を使用することで、素人でも実施出き、経費の節減にもなりその結果、施設の長寿命化に繋がります。

◆現場塗装の進め方

① 現状調査

点検や機能診断にて、構造物の塗装状態を目視により確認
（さび、ふくれ、白い粉をふいた時、さびの密度等の確認）。

② 事前準備

塗装する施設の材質や色等について、塗料を購入する業者や専門技術者等と協議を行う。
塗装する施設周りの危険個所等の把握、施設周りの足場等の確保や汚れ防止のためのシート等、
ヤスリやスクレーパー等のケレン用道具やウエス、刷毛やローラー等の塗装に必要な道具の準備。

③ 下準備

現状調査結果を基に、劣化部分をサンドペーパー又はケレン用タワシ等で除去する。

④ 塗料の選定

簡易な塗装のためには、「サビ止め」と「上塗り」が調合されたものを選定する。
希釈剤（シンナー）を併せ購入。

⑤ 塗装

1. 塗装を希釈　（配合比率は、塗料：シンナー　＝　9：1）
2. 塗装
3. 重ね塗り
　調合した塗料で2回程度塗る。厚塗りは乾燥ひび割れの原因になるので気を付ける。

⑥ 維持管理

塗装後は、定期的に監視し、上塗りを行う。
できれば毎年度塗り重ねることを推奨します。

【研修会の様子】

【現地で実施研修】

●アンケート調査の結果　「簡単塗装技術」については、73%の人が、実施に向けて検討したいとのことでした。また、安全研修についても、89%の人が参考になったと答えて、再度安全作業に留意してもらえるものと確信しました。

平成28年度　小水路目地補修講習会　開催

多面的機能支払交付金の資源向上活動の共同活動、機能診断・補修技術等に関する研修の一環として目地補修講習会を6会場で実施しました。

月　日	場所	代表活動組織名	参加者数（組織数）
10 月 13 日	恵那市	原農地・水保全組合	39　（17 組織）
11 月 15 日	郡上市	剣用水系地域農地・水・環境を守る会	33　（10 組織）
11 月 17 日	美濃加茂市	木野地域資源保全会	37　（13 組織）
12 月　7 日	加茂郡東白川村	東白川村農地・水・環境保全管理協定	39　（20 組織）
12 月 14 日	岐阜市	芥見地域環境保全協議会	28　（ 4 組織）
12 月 19 日	各務原市	蘇原北部地域保全会	34　（ 2 組織）

※東海農政局土地改良技術事務所の職員の説明の後、ガラス繊維モルタル充填工法、シーリング材注入工法により参加者に実際に施工体験をしてもらいました。

ガラス繊維モルタル充填工法　作業手順

1　事前にしっかりと目地の清掃をする。
2　ガムテープ等で、目地に合わせてマスキングする。
3　目地の奥行きが深い場合は、バックアップ材を詰める。
4　プライマー塗布（補修材との接着を図る）
5　モルタル練混ぜ（モルタル、水、プライマー）
6　モルタル充填（作業時には手袋を着用）
7　マスキング除去
8　仕上げ（プライマーを刷毛で塗り、表面を整える）
9　完成（表面が固まれば通水完了）

シーリング材注入工法　作業手順

1　事前にしっかりと目地の清掃をする。
2　ガムテープ等で、目地に合わせてマスキングする。
3　目地の奥行きが深い場合は、バックアップ材を詰める。
4　シーリング材注入（空隙ができないよう注意）
5　表面仕上げ（ゴムベラで整える）
6　マスキング除去
7　完成（シーリング材が乾いたら通水完了）

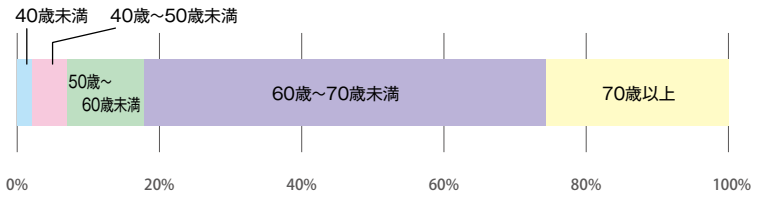
平成28年度　目地補修現地研修　アンケート集計結果

問１ あなたの年齢を教えてください。

１．４０歳未満
２．４０歳～５０歳未満
３．５０歳～６０歳未満
４．６０歳～７０歳未満
５．７０歳以上

（人）

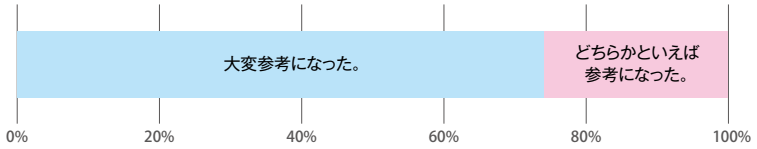
恵那市	郡上市	美濃加茂市	東白川村	岐阜市	各務原市	計	率
0	1	0	0	1	0	2	2%
2	1	0	2	1	0	6	5%
0	3	4	6	0	2	15	11%
22	14	14	10	9	7	76	57%
1	6	8	5	9	5	34	26%



問２ 目地補修研修は参考になりましたか。

１．大変参考になった。
２．どちらかといえば参考になった。
３．どちらかといえば参考にならなかった。
４．参考にならなかった。
５．その他

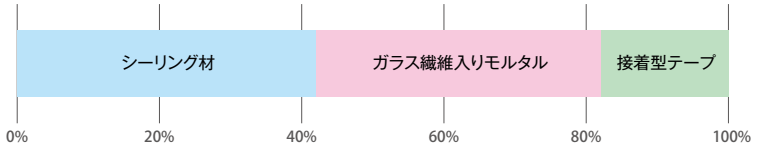
恵那市	郡上市	美濃加茂市	東白川村	岐阜市	各務原市	計	率
10	15	24	19	17	13	98	74%
15	8	2	4	3	1	33	25%
0	1	0	0	0	0	1	1%
0	0	0	0	0	0	0	0%
0	0	0	0	0	0	0	0%



問３ 参考になった工法は？ 工法名とその内容（複数回答）

１．シーリング材
２．ガラス繊維入りモルタル
３．接着型テープ　フルハルシート

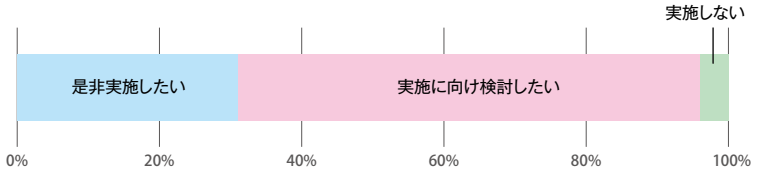
恵那市	郡上市	美濃加茂市	東白川村	岐阜市	各務原市	計	率
12	10	5	14	16	8	65	42%
11	17	12	8	9	4	61	40%
2	0	16	4	1	4	27	18%



問４ 本日実施された工法で今後、補修等に取り組みたいと思われますか。

１．是非実施したい
２．実施に向け検討したい
３．実施しない

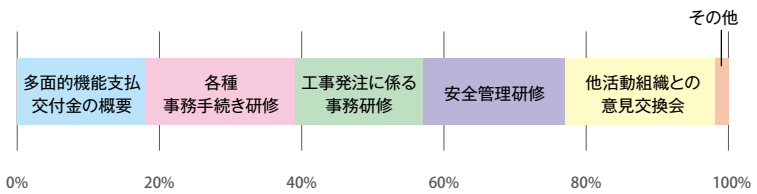
恵那市	郡上市	美濃加茂市	東白川村	岐阜市	各務原市	計	率
6	9	6	7	8	4	40	31%
18	16	12	14	12	10	82	65%
0	0	5	0	0	0	5	4%



問５ 今後、参加したい研修（複数回答）

１．多面的機能支払交付金の概要
２．各種事務手続き研修
３．工事発注に係る事務研修
４．安全管理研修
５．他活動組織との意見交換会
６．その他

恵那市	郡上市	美濃加茂市	東白川村	岐阜市	各務原市	計	率
3	6	3	5	4	3	24	18%
12	3	5	5	2	1	28	21%
5	7	2	5	2	2	23	18%
4	5	6	6	3	2	26	20%
4	3	5	2	10	4	28	21%
0	0	0	1	1	0	2	2%



平成28年度に事業計画の終期を迎える組織への注意事項

平成28年度が計画期間の終期を迎えることになる組織において、平成29年以降も継続して活動に取り組む組織、及び平成28年度をもって終了する組織について、以下の事項について注意をお願いしたい。

1. 地域資源保全管理構想の策定

実施要綱（別紙1）の第4の2に基づき、活動期間中（平成28年度が活動終了年度の組織にあたっては平成28年度まで）に地域資源保全管理構想を策定すること。

2. 事業費の精算

実施要領第1の12及び第2の13に基づき、事業計画に定める実施期間終了年度末に残額が生じたときは、当該残額を市町村長に返還するものとする。

ただし、実施期間終了年度の翌年度を始期とする新たな事業計画の認定を受け、農地維持活動、資源向上活動（共同、長寿命化）を継続する対象組織については、活動の円滑な継続のために、当該残額を新たな事業計画に基づく農地維持支払交付金及び資源向上活動（共同、長寿命化）に係る交付金の経理に含めることができるとされている。このことから、市町村等においては、各組織が翌年度に交付金が交付されるまでの間に真に必要な金額について精査を行い、必要最小限の金額のみを翌年度に持越させるものとし、明確な支出予定のない交付金については、返還の措置を適切に行わせること。

3. 事業計画の再認定

継続して活動に取り組む組織にあっては、新規組織と同様、実施要綱（別紙1）第5の1及び4、実施要綱（別紙2）第5の1及び4に基づき、新たに事業計画の認定を受ける必要があることから、活動組織の総会を経て必要な書類を整え、平成29年度早々に市町村長へ申請すること。

【平成28年度に事業計画の終期を迎え、平成29年度からも継続して取り組む組織は、新たに事業計画の認定が必要になります。】

◎継続して活動に取り組む組織にあたっては、新規組織と同様に法律に基づく事業計画を作成して、新たに市町村の認定を受けて下さい。

＊市町村に提出書類

多面的機能促進事業に関する計画（様式第6－5号）の作成

（添付書類）・多面的機能支払交付金に係る活動計画書（様式第1－3号）

・活動組織の規約（別記6－1）参照

・活動組織参加同意書（別紙）

4. 平成28年度終了する組織の注意点

平成29年2月を目途に、対象農用地の精査（平成28年度中の農地転用の有無）を行った上で、事業費の精査を行ってください。（残金の精査含む）　平成28年度に対象農用地の農地転用等があれば、遡及返還になりますので、返還金額の算定をお願いします。

なお、様式等につきましては、岐阜県農地・水・環境保全推進協議会のホームページの各種様式等からダウンロードできます。

多面的機能支払交付金事例研究会の開催

平成28年11月1日（火）、東京大学の弥生講堂において多面的機能支払交付金事例研究会を開催されました。

この事例研究会は、取り組み事例の情報共有と活動組織間等のネットワーク形成を図ることを目的としており、当日は、全国から約240名（女性3割）が参加。本県は岐阜県と県協議会から2名参加しました。

今年度は「多様な参画・連携の促進」、「活動組織の広域化」、「女性の活躍」、「土地改良区との連携」の4つのテーマで、京都府農村振興課、胆沢平野土地改良区、高屋広域協定運営委員会、Team雑田堀、多気町勢和地域資源保全・活用協議会から取り組み状況について発表がありました。

参加者からは、同じ課題を抱えているので参考になったとの声があったほか、今後のテーマとして、「高齢化等に対応した活動のアイディア」や「各種施策（農地中間管理機構等）との連携」等についても取り上げてほしいという意見が寄せられました。

【多面的機能支払推進室長　柵木 環氏】

【胆沢平野土地改良区の事例発表】

岐阜県からのお知らせ

◆活動組織の自己評価の実施について

平成28年度から多面的機能支払交付金による活動が効果的かつ効率的に実施されるように、市町村が定期的に活動組織に対して、活動の実施状況や成果、活動による地域の変化等を評価（自己評価）し、報告を求めることが実施要領に位置付けられました。本年度は、県で全活動組織の2割程度を抽出し、試行的に自己評価を実施していただいたところです。今般、自己評価の実施について指針が示されましたのでお知らせします。

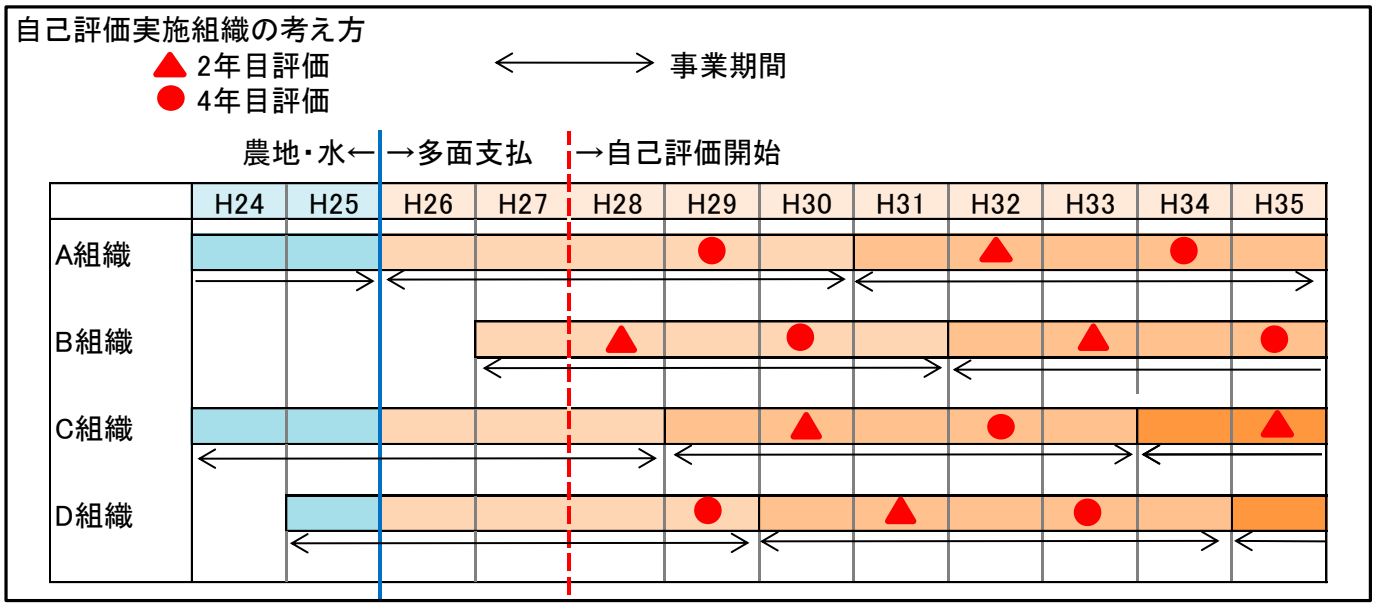
●自己評価の対象組織及び様式

☆農地維持活動を行う活動組織

☆資源向上活動を行う活動組織のうち多面的機能の増進を図る活動を実施している組織

●自己評価の対象年度

多面的機能支払交付金の活動開始年度（平成25年度までの農地・水保全管理支払交付金の活動期間は除く）から起算して2年目、4年目の活動組織。



◆活動計画書（施設の長寿命化）の記載例について

本年度より、資源向上支払（施設の長寿命化）の新規又は再認定組織に際し、交付単価、交付上限額を以下のように設定。

“「組織の広域化」の要件を満たさず、かつ直営施工に取り組まない組織については5/6を乗じた単価及び一集落当たりの上限交付額200万円を適用。“

次ページのとおり、活動計画書の記載例が示されましたのでお知らせします。

●留意点（直営施工について）

“直営施工の要件を満たすためには、活動組織としてこれを毎年実施する必要がある。ただし、交付金の全額を持越し、翌年度以降にまとめて施工する場合には、施工を行う全ての年度に直営施工を行うことで要件を満たすことが出来る“とされています。直営施工（資材の運搬や現場の草刈など）が計画的に実施されるよう願います。

多面的機能支払交付金に係る活動計画書

【資源向上支払（施設の長寿命化）の新規又は再認定組織における記載例】

※要綱別紙2の第6の（2）関係

様式第1－3号（抜粋）
Ⅲ. 活動の計画
2. 資源向上支払
（2）施設の長寿命化のための活動

確認項目③　直営施工の有無

活動区分	活動内容	延べ数量	年度計画				
			H 27年度	H 28年度	H 29年度	H 30年度	H 31年度
☑ 補修 ☐ 更新等	水路の老朽化部分の補修（直営施工により実施）	L=0.5Km					
☐ 補修 ☑ 更新等	土水路をコンクリート水路に更新（一部直営施工により実施）	L=0.1Km					
☐ 補修 ☐ 更新等							

（注1）必要に応じて欄を追加する。
（注2）直営施工を実施する場合は、活動内容欄にそのことが分かるように記載する。
延べ数量の単位は、「Km」又は「箇所」を記入する。

○活動内容欄に、直営施工の取り組みの有無が分かるように記載する。
【直営施工について】
- 長寿命化を行う施設の補修・更新の施工に際し、本体工事のみならず、外注での施工時に施工業者が行うべき工程の一部を活動組織が直営で施工するものも対象としており、これには当該補修・更新の実施に必要となる資材の運搬や施工現場の草刈等の準備工や仮設工も含む。
- 直営施工の要件を満たすためには、活動組織としてこれを毎年度実施する必要がある。ただし、交付額の全額を持越し翌年度以降にまとめて施工する場合は、施工を行う全ての年度に直営施工を行うことで要件を満たすことができる。

様式第3－3（別紙1）記載例

平成　○○　年度　多面的機能支払交付金事業実施計画書（実績報告書）

イ. 施設の長寿命化のための活動

区分	交付単価	対象農用地面積・集落数	交付上限額（国費）	備考
田　①		50,000 a	6,599,600 円	
交付単価	4,400 （円/10a）	20,000 a	4,400,000 円	
交付単価×5／6	3,666 （円/10a）	12,000 a	2,199,600 円	
1集落200万円		18,000 a		
畑　②		16,500 a	999,800 円	
交付単価	2,000 （円/10a）	5,000 a	500,000 円	
交付単価×5／6	1,666 （円/10a）	6,000 a	499,800 円	
1集落200万円		5,500 a		
草地　③		a	円	
交付単価	400 （円/10a）	a	円	
交付単価×5／6	333 （円/10a）	a	円	
1集落200万円		a		
保全管理する区域内に存在する集落数④	2,000,000 （円/集落）	2 集落	2,000,000 円	
計　①＋②＋③＋④		66,500 a	9,599,400 円	

1集落200万円の上限額が適用される組織用の行を追加。

1集落200万円の上限額が適用される組織については、地目別の面積のみ記載。

1集落200万円の限度が適用される組織に対する交付上限額。

（注）区分及び交付単価は、都道府県が策定した基本方針に従い記載し、市町村により異なる場合は行を追加すること。

今年も田ケローは大活躍！！

本年度も田ケローは各地で大活躍　どこへ行っても人気者だよ！

H28.8.7　川口活動組織（大垣市）
生き物観察会

H28.8.27　馬瀬川大花火大会

H.28.10.15,16　JAひだ農業まつり

H28.10.16　下呂温泉謝肉祭2016

H.28.10.22,23　農業フェスティバル

H.28.10.29,30　海津市産業祭

田ケローは貸し出しもしています。
県内ならどこでも参上するよ！

岐阜県農地・水・環境保全推進協議会に問い合わせを!!

お知らせ

岐阜県農地・水・環境保全推進協議会 第10回通常総会を開催します。

日　時：平成29年2月28日（火）午前11時より

場　所：ふれあい福寿会館3階会議室（岐阜県薮田南5丁目14番53号）

皆様からの「地域の活動状況」「地元の声」などの投稿をお待ちしております。

〔投稿先〕〒500-8385 岐阜市下奈良2-13-1　岐阜県農地・水・環境保全推進協議会

TEL.058-271-1326　FAX.058-275-0143

E-mail: nouti-mizu@gifudoren.or.jp　URL: http://www.gifudoren.or.jp/kyogikai/